

トランプ政権が直面する大問題の数々…

2025 年 2 月 21 日、再び大統領に就任したトランプ氏。就任直後から様々な方針を打ち出し、世界中で注目を集めています。

- ・「TPP から抜ける！」と言って、実際に抜けた。
- ・「パリ協定から離脱する！」と言って、実際に離脱した。
- ・「中国に関税を課す！」と言って、実際に課した。
- ・「WHO から抜ける」と言って、実際抜けた。（バイデンは撤回）

「いい方に変わるか」

「よくない方に変わるか」は、その国や人の立場 次第でしょう。

NATO、日米同盟、米韓同盟、米比同盟などの関係についても、今後、どのように変わっていくのでしょうか？

トランプは大統領は、「何をするかわからない人」として知られています。大統領選に勝利した後も、一見奇抜な発言で世界を驚かせ、次のようなことも言いだしています。

- ①「カナダは（米国の）51 番目の州になればいい」
- ②「パナマ運河を取り戻す」
- ③「グリーンランドを買いたい」など…、

今回は、下記 4 点について、アメリカの歴史のおさらいをしたいと思います。

目次

- 【1部】 アメリカ領土拡張と広大なメキシコの蚕食・・・p 2
- 【2部】 パナマ運河の歴史とアメリカ・・・p 9
- 【3部】 米国のグリーンランド購入・・・p 18
- 【4部】 ハワイ王国とアメリカの併合・・・p 23

【1部】アメリカ建国の領土拡張とメキシコ蚕食 (外国を何度も買ってきたアメリカの歴史) ニューヨークタイムズ 世界の話より

ソース = National Archives via The New York Times/©2019 The New York Times
公開：2019.10.07 更新：20250110



【上図】1848年12月の米国議会に提出された、**グアダループ・イダルゴ条約**で、線引きされた米国領拡大の地図。11代大統領ジェームズ・ポークのメッセージが添えられている。=National Archives via The New York Times/©2019 The New York Times

米国が外国の領土を、単に条約だけではなく、金銭取引で手に入れたのは、カリブ海のバージン諸島(註=バージン諸島のうちの西側を指す。東側は英領バージン諸島)が、最後だった。1917年に、デンマークから購入した。

それから100年以上が過ぎた今日、トランプ大統領が、世界最大の島グリーンランドを、デンマークから買い取りたいと意欲を示した。デンマークは拒否。
過去に買いたいとした米大統領は、トランプが初めてではなかった。
1946年、当時の大統領ハリー・トルーマンが購入を提案した。
デンマークは、その時も応じなかった。

249 (米独立 1776 年) 年の歴史の中で、米国は、何度も外国の領土を購入してきた。
現在の
・アリゾナ、ニューメキシコ両州の大半は、メキシコから、
・フロリダ州はスペインから、
・アラスカ州はロシアから、それぞれ購入した。

しかしながら、それは何世紀も前のことで、列強が戦争し、条約交渉をし、新大陸の領有を、争っていた開拓時代の話だ。

「もはや、そんなことは通用しない」と、ノースウェスタン大学准教授のダニエル・イマバールは断言した。

歴史学者で「How to Hide an Empire (帝国の隠し方)」の著者でもある。

彼によると、20 世紀への変わり目で、「**フロンティア (辺境の地)** は **もはや、なくなった**」と認識され、所有権のない地域は、ほとんど残っていなかった。

イマバールは、「**第 2 次世界大戦後**、世界地図は以前よりずっと**固定化**された」と、述べるとともに、各国とも「広大な地続きの土地を併合せずに、世界に影響力を及ぼす方がより簡単にすむ」ことに、気づいたのだ、と語った。

米国の主な **領土購入例** のいくつかを下記に取り上げてみると――

1. 1803 年 **ルイジアナ購入** (対仏)

米国は 82 万 8 千平方マイル (214 万 4510 平方キロメートル) の **ルイジアナ**の地を**フランス**から **1500** 万ドルで購入した。

現在価値だと **3 億 4 千万**ドル (≒¥150/\$換算で 510 億円) に相当する。

この地は、**ミシシッピ川**から**ロッキー山脈**に及び、現在の **15 州**――

アーカンソー、コロラド、アイオワ、カンザス、ルイジアナ、ミネソタ、ミズーリ、モンタナ、ネブラスカ、ニューメキシコ、ノースダコタ、オクラホマ、サウスダコタ、テキサス、ワイオミングの各州――に、またがって広がっていた。

大統領トーマス・ジェファースンは、**フランス**から**ニューオーリンズ**だけを買取るため、**ジェームズ・モンロー (主義の)** (註＝後の大統領) を特使として派遣した。しかし、当時の大統領ナポレオン・ボナパルトは、フランスの**ルイジアナ領全部**を売却すると申し出た。(ニューオーリンズを含めて計 **16 州**…当時の仏政府は逼迫財政であった)

2. 1819 年 **フロリダ** (対スペイン)

1819 年、**スペイン**との間で、**アダムズ・オニス条約**が調印された。

スペインは「**ウェストフロリダ**」と「**イーストフロリダ**」を割譲した。

両フロリダは、現在の**アラバマ、ルイジアナ、ミシシッピ、フロリダ・パンハンドル** (註＝フロリダ州**北西部**) にまたがる地で、**スペイン**の**植民地**だった。

アメリカ独立戦争

(註＝**1775～83** 年、アメリカの **13** の**植民地**が**英国**からの**独立を成し遂げた**) の**間**、**両フロリダ**は、**英国**の**植民地**だった。

1783 年の**パリ条約**で、独立が達成されると、上記**両フロリダ**は、一旦、**スペイン**に戻された。



1898 年のパリ条約批准の覚書に署名する国務長官ジョン・ヘイ
= National Archives via The New York Times/©2019 The New York Times

1810 年、ウェスト・フロリダのアメリカ人植民が、スペインからの独立を宣言した。

大統領ジェームズ・マディソンと、米議会は、この反乱を好機ととらえ、同地は「ルイジアナ購入」で、獲得した土地の一部であると領有権を主張。

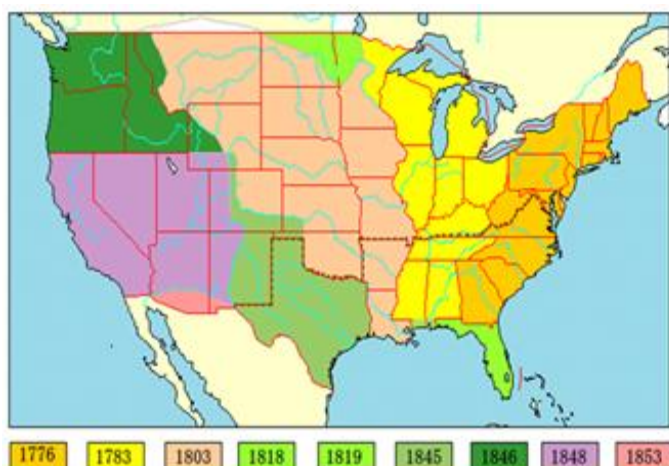
1815 年、当時の国務長官ジョン・クインシー・アダムズ（註＝後の大統領）が、スペイン特使のドン・ルイス・デ・オニスと、交渉を開始した。

このアダムズ・オニス条約で、米国は反乱の代償として 500 万ドル、現在の価値だと 1 億 100 万ドル（≒¥165 億、¥150/\$）を支払うことで同意した。

さらに、「ルイジアナ購入」で得た地域の西側国境が画定された。また、スペインが領有権を主張していた

「パシフィック・ノースウェスト」（註＝現在の米アラスカからカナダ太平洋岸を経て米北西部に至る広大な太平洋岸北西部）を放棄させ、スペインにはテキサスの主権を承認した。条約は 1821（文政 4）年に批准された。

3. 1848 年 メキシコ割譲（対墨）



= National Archives via The New York Times/©2019 The New York Times

アメリカ・メキシコ戦争（米墨戦争。米国が 1845 年にテキサスを併合、メキシコは外交交渉を拒否し、46 年に戦闘開始、米軍が圧勝）は、1848 年、米大統領ジェームズ・ポークが、メキシコ市で、グアダループ・イダルゴ条約に調印して終結した。

4. スペイン語の地名が残るアメリカ西部・南部

グランドキャニオンやモニュメントバレーで幻想的な写真を撮りながら、アメリカ西部を旅していると、スペイン語に由来する地名に溢れていることに気づく。

たとえば、**ロサンゼルス**は、元々「**Los Angeles**（天使たち）」というスペイン語が英語訛りで呼ばれるようになった町だ。コロラド州の「**コロラド**」はスペイン語で“**カラフルな**”を意味し、「**ラスベガス**」は“**白鳥**”を、「**ネバダ**」は“**雪が積もった**”を意味する。

5. かつてアメリカの半分は、メキシコ領だった

アメリカに、スペイン語の地名がたくさん残る理由は、西部の開拓時代には**メキシコ領**であったことを意味する。北はカリフォルニア州やネバダ州の周辺、東はコロラド州の辺りまで、広大な土地に及んだ。19世紀の**アメリカ拡張**の時代、西へ西へと、領土を拡張する中で、広大なメキシコ領と対峙することになる。

メキシコ領**テキサス**にアメリカ移民の流入

1821（文政4）年、最初の**アメリカ人**が約**300**家族ほど、メキシコ領の**テキサス州**に移民として**入植**した。この時代の**メキシコ政府**はとても**寛容**であったことが**仇**となった。**アメリカ人入植者**が**大量に押し寄せ**、**テキサス**における多数派となった時に、アメリカ人は「**テキサス共和国**」として**武力で独立してしまったのだ。**

メキシコ政府軍が慌てて鎮圧に来て、**主戦場**となったのが有名な「**アラモの砦**」だ。この戦いで、**メキシコ**は**勝利を収める**が、**アメリカ人**は「**アラモを忘れるな。（卑怯なメキシコに復讐せよ）**」という**スローガン**とともに、**アメリカ国民**を煽り、**大量のアメリカ義勇兵**とともに再来して、**メキシコ政府軍**を**圧倒**する。そして**テキサス**は**アメリカ合衆国**に正式に**合流・併合**されることになる。

1845（弘化2）年に、**テキサス周辺**を**併合**して、さらに**3年後**には、**カリフォルニア州**や**ネバダ州**も**メキシコから奪う**ことで、今の**アメリカ合衆国**の**原型**が出来上がった。**大西洋から太平洋にまたがる大陸国家の完成**だ。

メキシコは、**アメリカ**を**非難**するものの、戦争に負けた国に力はなく、かくて**メキシコ**は**領土の3分の1**をわずか**20年**ほどの間に“**永久に失う**”ことになる。

6. 【余談①】

太平洋に進出する**アメリカ**と、幕末の**日本**

メキシコを**打倒**した、**アメリカ**が**太平洋**に乗り出し、「**黒船**」とともに**日本**に**来航**したのが**ペリー**だ。

ペリーは、**メキシコ侵略の方法**を、**日本にも適用**することを**画策**して、**沖縄**や**小笠原諸島**の**父島**に、かつての**テキサス**と同じように**アメリカ人の入植者**を送り込んだ。これは、**徳川幕府**の**領有権の宣言**



などにより立ち消えになったが、
「メキシコの悲劇」は、幕末の日本にも影響を及ぼしつつあったのだ。

7. 【余談②】 現代も続く領土拡張の定番“土地の浸食”と「クリミア併合」

アメリカだけではなく、古来から大国が領土を拡張する常套手段が移民を送り込むことだ。
最近の出来事でいえば、2014（H26）年ロシアに併合されたクリミアだ。

ウクライナという主権国家の自治国という立場であったクリミアは、もともとロシア系住民を始め、ウクライナ系も多く住む複雑な都市だった。黒海に睨みを利かせる軍事的な要衝であることから、ロシアはクリミアにおけるロシア系住民を後押しすることで、徐々に親ロシア系の国に変容させて、ついにロシアに併合してしまった。

世界の歴史を学んでいると、日本の未来も垣間見れるようで、世界のあまたで起こる事柄は、リアルに我々に関わることだと知ることができる。人間社会には無数の残酷な悲劇があるのも一つの現実で、自分で守ることができなければ淘汰されるのは「自然の摂理」なのだろう。「メキシコの悲劇」は、その後の中南米とアメリカとの関係性を、決定づけてしまう大きな歴史の分岐点だった。

メキシコは、52万5千平方マイル

（約135万9744平方キロメートル）の領土を、1500万ドルの一括払い、現在の価値で4億8700万ドル（同¥720億/≒¥150/\$）相当で米国に割譲した。

割譲した領土は、今日のカリフォルニア、ネバダ、ユタ各州と、アリゾナ、コロラド、ニューメキシコ、ワイオミング各州の一部。

条約は、これらの地域に残ったメキシコ人に自動的に米市民権を付与し、メキシコ系米国人は、それまでの財産の所有も許された。

8. 1854年 ガズデン購入(対墨)

米務省歴史部によると、米国は、現在のアリゾナ州とニューメキシコ州の一部を取り囲む3千万平方マイル（約7769万9643平方キロメートル）の地域を
買い取るため、メキシコに1千万ドル、現在の価値で3億500万ドル（同約¥460億）相当を支払った。

米・墨戦争は、1848年に終結したが、米・墨間では、引き続き緊張が続いていた。
両国とも、ニューメキシコ南部からテキサス西部にかかるメシーラ溪谷の領有を主張していたためだった。

米大統領フランクリン・ピアースは、メキシコ担当相のジェームズ・ガズデンを、メキシコに派遣し、大統領アントニオ・デ・サンタ・アンナと交渉させた。

新たな条約が結ばれ、米国の南側国境が策定された。

9. 1867 年 アラスカ購入(対露)

米国は 60 万平方マイル (約 155 万 3993 平方キロメートル) 近くの地域を、ロシアから 720 万ドル、現在の価値にすると 1 億 2500 万ドル (同約¥190 億) 相当で買い取った。

アラスカ購入は、ロシアの北米方面への領土拡張に終止符を打った。

ロシアのピョートル大帝は 1725 年にアラスカの地の探検に乗り出したが、ロシア人の永住植民者数が 400 人を超えることはなかった (ので手放した)、と当時の米國務省歴史部は、記している。

ロシアは、アラスカの天然資源に関心を持っていたが、植民のための主要支援策の資金に事欠いていた。

露は、クリミア戦争 (註 = 1853 ~ 56 年) に敗れた後、59 年にアラスカ売却を申し出た。買収の駆け引きは、米国内の南北戦争 (訳注 = 1861 ~ 65 年) のために遅れ、67 年に、米大統領アンドリュー・ジョンソンが条約に調印した。
アラスカは 1959 年までは州昇格になった。

10. 1898 年 フィリピン諸島(対スペイン)

1898 年、アメリカ・スペイン戦争 (註 = 米西戦争。キューバの独立闘争に介入した米国とスペインの戦争。スペインが敗戦) が終結し、パリ条約が結ばれた。
スペインは、3 世紀以上にわたって、植民地にしていたフィリピンを米国に譲渡した。

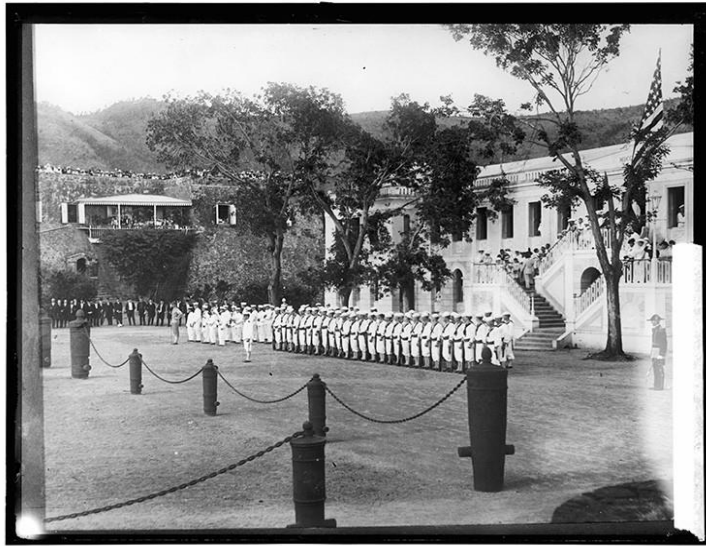
このパリ条約で、キューバの独立が認められ、グアムとプエルトリコも米国に割譲された。
米国は、フィリピン譲渡に対して、スペインに 2 千万ドルを支払った。

しかし翌 99 年、フィリピンの民族主義者たちが独立を要求して米軍に反乱を起こし、アメリカ・フィリピン戦争に発展。

エミリオ・アギナルドに率いられたフィリピン民族主義者たちが、すべての植民地支配からの独立を求めて抵抗した。

戦争は 3 年間に及んだ (註 = フィリピン側の抵抗は米軍に武力鎮圧された)。
米国が、フィリピンの独立を承認したのは 1946 (S21) 年だった。

11. 1917 年 バージン諸島(対デンマーク)



デンマーク領・西インド諸島だった地に、米国旗が、掲げられた=**1918**(T7)年ごろ、

National Photo Company Collection / Library of Congress via The New York Times / ©2019 The New York Times

130 平方マイル (約 **337** 平方キロ) にまたがる カリブ海のバージン諸島は、

デンマークから、2500 万ドル、現在の価値で 5 億 100 万ドル(同約**¥750** 億)相当で、米国が買い取った。

セントクロイ島、セントジョン島、セントトーマス島、その他いくつもの小島がある。当時、デンマーク領西インド諸島として知られていたが、米国は同諸島を獲得してカリブ海に影響力を及ぼしたいと **1867** 年から画策していた。

1917(T6)年になって大統領ウッドロー・ウィルソンが、購入条約に署名し、バージン諸島は、正式に米国の領土として移管された。

(Mariel Padilla) ©2019 The New York Times



【バージン諸島】 海に面した 4 つ星の宿泊施設で、屋外プール、フィットネスセンター、レストランを提供している。ホットタブ、レンタカーサービスを利用できる。ルームサービス、24 時間対応のフロント、ツアーの手配サービスを提供している。
最安料金：¥ **153,656** (1 泊あたり／人)



【バージン諸島】 屋外プール、無料専用駐車場、テラス、バー完備。コンシェルジュサービスと子供の遊び場も提供している。このリゾートは館内全域での無料 WiFi、ホットタブ、ビジネスセンターを提供している。
最安料金 ¥ **33,153** (1 泊あたり／人)

(1 部了)